SASST 建築鉄骨構造技術支援協会
Supporting Association for Building Steel Structural Technology

SASST 技術評価 第16-04号

技術評価書

・技術名称　アンカーボルト過大孔充填材を用いた鉄骨造階段の露出柱脚工法（K型親子フィラー柱脚工法）

・技術評価申請者　株式会社構造工学研究所　代表取締役　竹沢 吉雄
扶桑機工株式会社　代表取締役　渡瀬 昌明

・技術概要　本工法は、鉄骨造階段のベースプレートにあけたアンカーボルト装着用の過大孔に特殊な形状をした一組の鋼製充填材（以下K型親子フィラーとする）を用いることで、ボルト孔のクリアランスを規定の値以内とする工法である。

・開発趣旨　鉄骨造階段の露出柱脚では、種々の設計・施工条件の影響により、ベースプレートにあけるアンカーボルト装着用の孔は、建築基準法施行令66条に関連する告示（平成12年建設省告示第1456号）で規定されているボルト径＋5mm以内とする条件を満たすことが困難な状況にあることが多い。ただし、この規定は、構造計算等で安全が確認された場合には適用されない。
本工法では、この露出柱脚のベースプレートに用いるアンカーボルトの呼び径をM16、M18、M20に限定してベースプレートにあけるボルト孔径を使用するアンカーボルトの径より46mm大きく設定しており、そこに特殊な形状をした一組の鋼製充填材（K型親子フィラー）を使用して、最終的なボルト孔のクリアランスを最大4mmとし、柱脚部におけるアンカーボルトの施工誤差を吸収することを目標として開発したものである。この点に関する力学性能を使用条件の規定ならびに構造計算で確認している。

当協会の建築技術評価実施要領に基づき、上記の技術評価対象技術について、下記の通り評価する。

2017年2月10日
（一社）建築鉄骨構造技術支援協会
理事長　田中 淳夫